一人につき２項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページをご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

▲市議会HP



尾嶋（おじま） 一雄（かずお） 議員（MIRAI）

施策にナッジ手法の活用を

答弁…積極的にナッジ手法を取り入れていく

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　人々が自発的に望ましい行動を選びやすくするナッジという手法があるが、市は、その手法を施策に取り入れているか。

　また、この活用方針を明確に示すためには、横断的な組織であるナッジ・ユニットの設置が必要と考えるが、いかがか。

答　環境や健康増進など市民生活に身近な分野でナッジの考え方を取り入れた取組を行っている。引き続き、各部署において、業務や施策の中で、できることからナッジ手法を積極的に取り入れ、その効果や課題を積み重ね、行政サービスの向上につなげていく。



ナッジ手法を活用した
足跡のステッカー

避難 避難行動要支援者制度の運用確立を

答弁…防災や災害時の円滑な対応につなげたい

問　市は、避難行動要支援者名簿登載者のうち、平時から情報提供の同意を得ているかたの名簿を、民生委員・児童委員などに提供している。この名簿の平時における活用方法について、どのような運用を想定し、共有化を図っているか。

答　平時においては、防災や災害時の円滑な対応につなげることを目的として、民生委員・児童委員の訪問・見守り活動など、地域の防災体制構築に活用できるものと考えている。また、行政区長会や自主防災組織の会議等において制度の周知及び共有化を図っている。



細井（ほそい） 藤夫（ふじお） 議員（WAKABA）

市立図書館を通じた大人の読書推進策を

答弁…大人に向けた取組を推進していく

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　電子書籍やオーディオブックの登場により文学への接し方が激動している時代である。図書館が「本好きがつながる場」として機能し、「紙の本を読む体験を支える場」として、将来的に維持され続けるためにも、大人の読書推進策が必要と考えるが、いかがか。

答　読書を取り巻く環境が変化する中、大人に向けた取組の充実が必要である。本を通した市民の交流等により、図書館の利用が少ない市民にも足を運んでいただけるよう、他の図書館における成功事例やノウハウを生かした指定管理者による取組を推進していく。


白岡市立図書館
（生涯学習センター）

交通 本町通りの交通安全対策は

答弁…交通安全に係る啓発等を実施していく

問　市道2-9号線「本町通り」と5264号線の丁字路は、本町通り側の停止線を超えて停止する車が多く、混雑の一因となっている。路面標示の改修やカーブミラーの大型化など、追加の対策ができれば安全性の向上につながると考えるが、いかがか。

答　関係機関と協議し、路面標示等の交通安全対策を実施しており、これ以上の対応は難しい。カーブミラーの視認性は確保されており、大型化は車両への接触の危険性が高まることや電柱等の設置状況により難しい。引き続き、交通安全に係る啓発等を実施していく。